

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	研究成果の普及等に要する経費	担当部局庁	国立社会保障・人口問題研究所	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度	担当課室	総務課	課長 鈴木 剛			
会計区分	一般会計	施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	社会保障・人口問題分野における研究の進展は著しいが、行政と学界との間で必ずしも十分かつ活発な交流が行われているとはいえない状況がみられ、また、学界内部においても、経済学、社会学、法学、行政学等からの学際的なアプローチによって研究されてきた経緯から、十分な交流の場が確保されていない状況にある。 本事業では、国立社会保障・人口問題研究所における研究成果を紹介し、関係機関等との交流を図り、社会保障及び人口問題研究の発展に資することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・厚生政策セミナーの開催事業 ・研究成果の公表等に関する事業						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	6	5	4	4	4
		補正予算					
		繰越し等					
		計	6	5	4	4	4
		執行額	5	4	4		
	執行率(%)	83%	80%	100%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	研究成果は各種政策立案の基礎資料等として活用され、広く国民の政策関心に応えるものであるが、これらの活動を定量的な指標をもって評価することは、研究の性質上困難である。	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	研究成果は各種政策立案の基礎資料等として活用され、広く国民の政策関心に応えるものであるが、これらの活動を定量的な指標をもって評価することは、研究の性質上困難である。	活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—
				(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	—(円/)	算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.7	0.7				
	委員等旅費	0.09	0.09				
	試験研究費	4	4				
計	4	4					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	広く国民のニーズに配慮しつつ、人口問題及び厚生労働・社会保障施策に関連する制度横断的かつ国際的な観点からのテーマを選択して実施しており、国の政策への関心に応える事業内容であり、優先度が高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	上述のとおり、国が実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札の実施や、契約金額が少額であっても見積合わせの実施により、競争性を確保している。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	—
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	セミナーのテーマ設定や会場選定など一般国民の参加を配慮している。また、研究所の研究成果公表についても、ホームページを通じて一般国民に高い関心のある研究論文等を分かりやすく情報提供しており、実効性の高い手段となっている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	セミナーのプログラムと報告資料はホームページ及び機関誌において公開しており、広く一般国民の関心に応えている。
点検結果	発注などの契約手続については、入札や見積合わせにより競争性を確保する等により予算執行の効率化を継続しつつ、研究内容の質を維持するために必要な取組を実施する。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業は、社会保障政策の推進のため調査研究事業等に必要な経費であり、執行状況等検証の上、引き続き適切な予算措置とすること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	618	平成23年行政事業レビュー	559

国立社会保障・人口問題研究所
4百万円

セミナー運営業務請負、音響照明技術費、セミナー等出席謝金・旅費

【一般競争入札】

A オスカージャパン(株)
2百万円

〔セミナー運営業務請負〕

【随意契約】

B (株)サウンドマン
0.08百万円

〔音響照明技術費〕

F 事務費
0.006百万円

〔消耗品〕

C 個人(26人)
0.6百万円

〔委員会等出席謝金〕

D 個人(6人)
0.3百万円

〔セミナー等出席旅費〕

E (株)大應
0.6百万円

〔報告書印刷〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.オスカージャパン(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	セミナー運営業務	2			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	オスカージャパン(株)	セミナー運営業務	2	2	54.3%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)サウンドマン	セミナー音響照明技術費(立会)	0.08	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	個人I	セミナー講師謝金	0.06		
2	個人N	セミナー講師謝金	0.06		
3	個人K	セミナー講師謝金	0.06		
4	個人M	セミナー講師謝金	0.06		
5	個人S	セミナー講師謝金	0.06		
6	個人O	研究会出席謝金	0.01		
7	個人M	研究会出席謝金	0.01		
8	個人I-2	研究会出席謝金	0.01		
9	個人K-2	研究会出席謝金	0.01		
10	個人K-3	研究会出席謝金	0.01		

D.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	個人I	研究会出席旅費	0.07		
2	個人O	研究会出席旅費	0.05		
3	個人I	セミナー出席旅費	0.04		
4	個人U	研究会出席旅費	0.03		
5	個人T	研究会出席旅費	0.03		
6	個人K	研究会出席旅費	0.02		
7	個人U-2	研究会出席旅費	0.02		
8					
9					
10					

E.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)大應	報告書印刷	0.6	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

F.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	オスカー・ジャパン(株)	会議用消耗品	0.004	随意契約	
2	(株)カクヤス	会議用消耗品	0.002	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					